

富岡地域づくり 協議会だより



第23号
令和4年7月29日
広 報 委 員 会
<https://www.town-tomioka.click/>

富岡地域づくり協議会の総会が開催されました

令和4年5月21日（土）午後3時より、富岡まちづくりセンターのホールにて、富岡地域づくり協議会の総会が開催されました。コロナ禍の影響で、直近の2年間は書面による表決でしたので、顔を合わせることはありませんでした。しかし、今年度は新型コロナウイルスの感染状況が一部を除き減少傾向（厚労省に助言する専門家組織）故、一同に会しての総会の実施になりました。実施できてよかったと安堵したのは、役員の方ばかりではなかったと思います。

この冒頭に、鹿島副会長より富岡地域づくり協議会の概要（目的・組織等）について説明がありました。本組織について、その設立の意義・役割等について未だに充分浸透しきれていないという懸念から行われたものです。

尚、こうした説明については、これまでも総会の折りに何度か行われてきています。ただし、総会に参加いただけていない方からは、聞いたことはないとの声が聞こえてきそうです。そこで、本協議会だより19号（令和元年7月10日発行）にも関連の記事の記載がありますので、手に入るようでしたら、そちらもご覧いただきたいと思います。（富岡自治連合会で各自治会長さんに配布済みの小冊子には、関連の資料が載っているとのことです。）

尚、これに関する詳細を確認されたい方は、まちづくりセンターの事務局までお問い合わせいただきたいと思います。

さて、渡辺会長を議長に議題の審議が行われました。令和3年度の活動報告については、その主たる事業の多くが中止になっていて、報告する側もなんとはなしにこの報告でいいのかとの思いが反映したような調子の様に聞こえました。

それと比較して、令和4年度の活動計画については、具体的に実施できる展望・希望・見込み・明るい先行き等が見えて、また、確信できて力強い発表のように感じました。

実施できなかった昨年度の実態と、実施できそうな今年度の状況とでは、発表ひとつをとってもこんなに差異があるものかと実感したものです。

いずれにせよ、今年度は多くの事業が具現化していく予定であり、参加条件に該当する皆様には是非進んで参加いただけますようご案内いたします。そして、実績や成果を残し、次につなげていけるようにしていきたいと思います。ご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

富岡地域づくり協議会概要

環境 安全安心 コミュニティ 文化産業 スポーツ 福祉

環 境 部 会	安 全 部 会	コ ミ ュ ニ テ ィ 部 会	学 習 ・ 振 興 部 会	福 祉 部 会
環境推進委員協議会 エコネットくぬぎ山	防犯協会 交通安全協会 消防団第5分団 消防団第5分団協力会 富岡中学校PTA 富岡小学校PTA 中富小学校PTA 西富小学校PTA スクールガード 青少年育成推進員 青少年を守る会連合会	自治連合会 (18自治会)	まちづくりセンター 協力会 学校開放運営委員会 スポーツ推進委員 スポーツ協会 母子愛育班	民生・児童委員 協議会 社会福祉協議会 更生保護女性会 長生クラブ連合会 日赤奉仕団 みまもり相談員 おっぺすとみおか 包括支援センター
事務局・広報委員会				



「地域みまもり支え合い体験会」が開催されました



令和4年5月28日（土）午後、富岡まちづくりセンターにて富岡福祉プロジェクト会議主催の「地域みまもり支え合い体験会」が開催されました。富岡福祉プロジェクト会議とは富岡地域包括支援センターを中心に富岡地域の健康活動を支援する会議で、買い物支援隊を高齢者施設の送迎車を利用して展開してきた実績もあります。

体験会には、渡辺富岡地域づくり協議会会長をはじめ協議会のメンバーも多数参加しました。

テーマは、社会全体で高齢化が進み健康年齢を高めていく一方で認知症の人が増えている事態も現実です。高齢者が住み慣れたこの地域で安心して暮らせるよう、地域の人々の日頃のさりげない見守り・声かけが大切です。

迷い人らしき人に、見守りの声のかけ方の良い例・悪い例を女性代表によるコント形式に表現し会場がなごみました。

そして、所沢市が迷い人・迷子の早期発見や



災害時の安否確認に利用できる「トコロんおかえりQR」というシステムを展開することになり、富岡地区が初めて体験しました。迷い人が杖や鞆につけてあるQRコードをスマホで読み取ると連絡先が判断できる。しかし参加者が慣れないので読み取りが難しく包括支援センター・社会福祉協議会・早大学生などの支援を受け体験しました。課題としては、迷い人になる心配を抱える家族が、この制度を利用登録していただかないと意味がないので定着には時間がかかると思われます。



トコロんおかえりQRシール

最後に、マスコット「トコロん」と参加者で記念撮影して終了しました。

<編集後記>

上野発の夜行列車 おりたときから 青森駅は雪の中

石川さゆり「津軽海峡冬景色」

この歌は、三木たかしが先に旋律を作り、それに阿久悠が詞をつけた。音律は、六・六という「弾けた調子」の後に七・七・五の正調が来る。この挑発に心惹かれるところから演歌でもポップスでもない新しい歌謡が生まれた。あの頃は作詞家も作曲家も「腹に一物持って裏切りあっていた。だから良い曲が生まれた」と音楽プロデューサーの三田完は著書「歌は季につれ」の中で言う。平成28年12月26日 折々のことば

最近ふと手にした私用のメモ帳にあった文章です。当時名のある・売れっ子の二人が作った曲であること、また、凡人には思いもよらない仕掛けがあったこと、当時としては斬新な曲調であったこと等により、ヒット曲たり得たのかなと納得できました。

聞く人に、自然の厳しさや人生のはかなさや辛さを訴え、いやがおうにも共感を持って受け入れられた詞でもあったのかなとも思いました。これらから、誰もが知る名曲になったのかも知れません。

それにつけ、売れっ子の二人だったが故に、産みの苦しみは相当なものだったのではと推測できました。口ずさんでみると、詞と曲がしっかりとかみ合っているのが実感できました。